

## 平成30年度使用小学校用教科用図書採択理由書

教科	種目	発行者	採 択 理 由
道徳	道徳	光文書院	<p>□ 全学年の全ての読み物教材において、登場人物の判断や心情を類推する問いがよく考えて位置付けられている。また、実生活上の問題場面を話し合うことのできる教材がよく考えて配置され、多くの教材で生活の中から問いが持てるよう、見出しが位置付けられている。そして、学習したことを日常生活に生かす活動がよく考えて位置付けられている。</p> <p>□ 家庭での出来事や地域との交流を描いたものなど、地域と家庭の良さを家族と話し合う教材が多く、家庭や地域との連携についてよく配慮されている。また、各教材の最後に示した「ひろげる」によって、家庭や地域と関わりのある活動が仕組まれており、よく工夫されている。</p> <p>□ どの学年においても町の人々の思いに目を向けられるよう、全学年2つ以上の教材やコラムが取り上げられ、発問がよく工夫されている。また、題材は各地域のものであってもワークシートや発問を掲載し、どの地域においても活用できるよう、よく配慮されている。汎用性をもたせるよう、よく工夫されており、飛騨地区の実情にとっても適している。</p>